ハピカム ミライデザイン会議

日田市

観光 Sightseeing

かつて「山あいに都あり」といわれ、天領として独自の文化を育んだ水郷・日田。美しい自然、温泉、歴史、祭り―旅人は日田を訪れるたびに異なる魅力に出合う。流れる時代の中で、歴史ある日田の観光産業も生き残りの道を模索している。日田を愛する若手リーダーが地域の未来像を熱く語り合った。

三隈川に浮かぶ屋形船

日田の日常が非日常の魅力

呼べる力を持っている

船山　日田の観光を、より良くしていこうという分科会です。日田は何もかも面白い街。豆田の落ち着いた町並み、三隈川の夕日、荘厳な日田祇園―。一つ一つが洗練され、心地よい場所です。もっと観光客を呼べる力を持っているという確信があります。みんながほんのちょっと何かを変えて、その積み重ねで日田がもっと良くなるような何かを出せたらと思います。

小笠原　出身は長崎県の稲佐山の近く。昨年の中途採用で観光課に配属になりました。それまでは民間の旅行会社で5年働いていまして、久留米の営業所では浮羽や朝倉を担当しました。三隈川公園から見る川の風景が好きです。日田の売りにしていきたいです。

若手リーダー
日田市観光課主事
小笠原正泰 さん

武内　豆田町で宿をしています。ホテルを将来的に国際ホテルにしたいと大学はアメリカに渡りました。家庭の事情で4年の途中で帰ってきましたが、まだ在学中。ものづくりも含めて、観光業だからできる情報発信の仕方があります。若い人たちと共にやっていきたいです。

黒木　小鹿田（おんた）焼の陶工をしています。家業に入って13年たちます。日田の武器は人のつながり。小鹿田も結び付きが深いです。

高倉　まちづくりエディターと名乗っていますが、本職は実家の印刷業。小学校の2年から6年まで日田に住み、大学は東京でした。諸事情で日田に戻ることになりました。日田の人っていろいろ言いつつも、日田に構いたくなるのがいい面でもあり、煩わしい面でもあるのかな。いいところをもっと出して、日田ブランドができるといいなと思っています。

那賀　JR九州の那賀です。高校まで大分市にいました。皆さんの思いとか、福岡を中心に九州にどう伝えることができるのかを考えていきたいと思います。

豆田は“危ない観光地”

船山　日田の観光は2005年の712万5千人がピークで、11年は472万人と減少傾向にあります。高速道路を利用する観光客が多いため、91%が日帰り旅行です。宿泊してより長く滞在してもらうようにするにはどうしたらよいでしょう。皆さんの取り組みを含めて、発表してください。武内さん、どうですか。

武内　取り組みといっても、そんなにないんです。それが課題。観光資源を生かせていない。豆田町の現状としては“危ない観光地”です。信号がなく、道路の速度制限もない。車がぶわーって飛ばしていく状況が続いています。先日、僕も車にぶつかられたんです。歩行者天国になってもおかしくない所なのに、なんでならないのかとよく聞かれます。

船山　観光客の安全も守れますし、一つの課題ですね。

高倉　まちづくりエディターとしてやりたいのは、みんなをつなぎ直したいということ。個人で活動する人は多いのですが、それぞれが別の問題と捉えるのではなく、少しでも重ね合わせられるようにしたいと活動しています。日田をどうしていきたいかをフラットに考える場があるといいなと。

若手リーダー
まちづくりエディター
高倉貴子 さん

客が自由に歩ける田舎

船山　若い人たちが垣根を越えて集まれる場をつくることですね。小鹿田はどうですか。

黒木　若手はしょっちゅう集まって飲んでます。今、世の中は手仕事ブーム。気に入ったものがほしいという若い人が増えています。

船山　日田の未来を考える上で、小鹿田が一つのキーワードになるのではと思っています。変わらない良さというか、守るところは守り、一方で柔軟なところもある。黒木さん、今日は作品を持ってきてくださったんですよね。

黒木　はい。（作品を取り出して）お土産としては古典的な柄が喜ばれるんですが、それだけでなく、さまざまな作品に挑戦しています。

若手リーダー
小鹿田焼陶工
黒木昌伸 さん

武内　民芸は日常生活で使えるところが強みですね。

高倉　何でもいいという人と、こだわりたい人と二分化しています。

武内　もはやみんな同じではないので、絞っていかないといけないと思います。

船山　武内さんが実践されている「絞っていく」経営のやり方を教えてください

武内　うちは宣伝しないことが宣伝。口コミで増えていくという。仲居さんのおもてなしも、常に身の回りをお世話するサービスではなく、サービスをしすぎないようにしています。

黒木　小鹿田もお客さんが歩いていても、何もしない（笑）。お客さんは自由に行き来しています。でも、自由に歩けて、へつらわれない田舎ってあまりないと思うんですね。

高倉　作家さんは、売れるものよりも、作りたいものを作りたいと思うんです。「売れた」とか「これが求められている」いう情報は後からついてくるものでしょう？それには時差があるから、売れる物だけを作っていると続かないと思う。

武内　パイオニア的な商品は、お客さんの想像を超えて作られますからね。

杉の皮ぶき屋根を提案

船山　日田の観光を考えると、広域的な視点も要りますね。例えば天瀬。小笠原さん、天瀬の観光の取り組みを教えてください

小笠原　特産のユズで観光を盛り上げようとしています。天ケ瀬温泉ではユズ湯やユズ料理を提供し、各所でユズを使ったおもてなしを受けられる「あまがせ ゆずさんぽ」を企画しています。

船山　ところで、三隈川の屋形船は風情があって素晴らしいと思うんですが、まだ活用できそうです。

武内　旅館の持ち物なので、船代を安くすればいいと思うんですが、なかなか議論をする機会がなくて。昨年の水害後、行政に補助を出してもらって、改装したばかりです。

若手リーダー
ホテル風早専務
武内真央 さん

高倉　屋根を杉の皮ぶきにしないかと提案したことがあったのですが、なかなか。できれば、屋形船はみんなの共有財産にしてほしいです。

武内　東京の屋形船は出来たての料理を提供するなど工夫して大人気ですね。何となく日田は違うかな。

船山　自分たちが変えていく、という若い人は日田にも多くいます。地域や業種を越えた会議を持つやり方もあると思います。

武内　異業種間の「たのもし」をつくりましょう。そこからつながっていくと思う。

県外での評価高いナシ

船山　日田のブランド産品といえば日田梨がありますね。ナシは生かせませんか。

高倉　実際、日田の街では買う場所がありません。産地だとあちこちで売られているイメージがありますが、日田はないですね。

武内　ナシを売る場所として豆田が歩行者天国になればいいのにな。

黒木　小鹿田焼は市内でも売っている店が増えました。

小笠原　昨日も福岡でナシのPRをしましたし、外の評価はどんどん高まっています。しかしまず日田市民が好きにならないと。

高倉　日田市民が個人でどんどん売ってくれるようになるといいですよね。「日田はナシがおいしいのよ」と日田の人が言うのがいい。

武内　ブランド発信できるセンターみたいなものを、観光業の人もできるのでは。

那賀　お話を聞いていて、皆さんの日田への思いの強さを感じます。今日のハピカムは未来をデザインするのが趣旨。こんな日田をつくるというトータルの未来図を描ければ、周りに伝わる部分もあるのではないでしょうか。全体で、最高の素材を生かした日田のまちというのは、どんなまちだと思いますか。

高倉　例えば、JR日向市駅の駅舎。10年くらいかけて街の人と一緒につくりあげて、とても素敵な駅になった。日田が生まれ変わるのは私たちの世代ではないかもしれないけれど、繰り返して伝えて理解してもらうことが大切なのでは。継続は力ですから、せっかくできたネットワークを生かして話し合いを続けていきたいですね。

武内　鳥取県の水木しげるロードは若者の提案が町の人を動かしました。もともとは美しい道路をつくろうというところから始まったもの。きれいな町は豆田にもつながります。安全に観光できる豆田に日田杉のポットを並べて花を植えたい。新しいものを作ることもできるけれど、古いものを持っているのは幸せです。

黒木　日田全部が本物を追求したらいいな。小鹿田焼も、全国に負けない物を作り、かつ小鹿田の中でも負けないようにしないと生き残らない。

船山　唐臼の音は日本の音風景にも選ばれていますね。

コーディネーター
大分合同新聞記者
船山善弘

黒木　お客さんのために残しているわけでなくて、必要だから残っているんです。

船山　小鹿田の里自体が宝ですね。

武内　ちょっと遠いからいいんです。旅行は迷っていくからいい。桃源郷です。

黒木　小鹿田焼は今、大物があまり売れない。でも、売れなくても大物を作らないと、技術が下がってしまいます。本物を追求していけば人も来ると思います。

那賀　「本物」は一つの鍵ですね。

武内　昔からの思いやその神髄を分かってくれるのは日本人ではなく外国人のお客さんが多いと思うんです。姉妹都市をつくって都市との交流をしたらどうでしょう。

船山　県境と国境を超えてきましたね。

武内　だって、日本自体が既に箱が小さいですよ。

黒木　うちも営業しないことが宣伝。技術を磨くことがお客さんにつながっています。

武内　小鹿田は全国でも独特です。蹴轆轤（けろくろ）をまだ使っているし。

高倉　売れるには数をこなさないと、となってくるけれど、売れるとかじゃなくて「守る」という選択をしているところがすごい。

日本人以上に感動する

船山　情報発信が大切になりますね。

武内　英語のホームページを3カ月前に作ったんですが、何件か宿泊につながっています。おやじが電話を取ったら用件も聞かずに切っちゃうんだけど（笑）。

高倉　外国から見つけて来るんですね。

小笠原　日田市では英語の情報発信はしていないですね。フェイスブックはしているんですが、東京在住のカメルーン人から反応があったこともあります。

武内　始めれば何かあるので、やろうとすることが大切では。外国の人を小鹿田に連れていくと必ず感動しますよ。日本人以上に文化を心に留めてくれる。

黒木　観光PRは今、地元の人でも簡単にできる。観光客も地元の人がいないところには行かないです。

那賀　批判ではなく、それぞれの思いを地元民として「もっとこういうふうにしたい」とコミュニティーに広げていくことが大事かもしれませんね。実際、いいものがあるから伝えたい、こういうふうにしたいという思いがあるので、同じ思いの人間をつなげていくことが大切なのかな。

APUの学生と連携を

船山　若い力も入ってきているんですね。

小笠原　そういう日田に帰ってきた若い方たちと話す場を持ちたいな。

武内　「日田をよくしようの会」ですね。

那賀　この会をきっかけに、未来を創造する会をしたら自然な流れができるのでは。

小笠原　実行しようとすると、やはり問題点が出るのでいろんな人を集めないと。愚痴で終わりたくないです。日田にずっと住むつもりで来ましたし、自分のまちを明るく楽しくしたい。同じ年代の人の意見が聞きたいです。

那賀　新しいものをつくろうとすると、批判も出る。上の人がずっとやってきたこともあったと思うんです。若い人は理想をとにかく追求すること。理想を話し、伝えていくと、理解を示していただけるかもしれない。「今の若いやつ、うらやましい」と思ってもらえるといいですね。

アドバイザー
JR九州本社旅行事業部営業創造課主査
那賀輝彰 さん

船山　若者の力を集めていって、気が付いたら大きな力になっていることが理想ですね。

武内　仕事があふれるような所にすればいい。観光業だけでも食べていけるようになるのが理想です。

高倉　国際化については、せっかく立命館アジア太平洋大学（APU）があるから、できることがありそうです。

武内　HPは3カ国語で作っては。「行きたい」と思える写真が重要ですよ。

通うたび違う顔見える

船山　三隈川の夕日はぜひ推薦したいです。さて、総括会議では日田の「ミライへの鍵」を分科会から提出します。日田の未来像を描く上で、キーワードがありますか。

武内　国際ふれあい都市！

黒木　作ったまちではない、古くからあるものたちを大事にするようなイメージがいい。

高倉　「本物」はどうでしょう。

小笠原　もともとあるものを生かしたいという話がメーンだったので、「本物」っていいですね。

武内　歴史があること自体が幸せです。

船山　ミライへの鍵として「本物があるまち」はどうですか。

那賀　いいですね。日田には地元の人が愛する本物があることを今日感じました。

船山　日田に何度か通うと、そのたびに違う顔が見える。切り取りたい風景がたくさんある。素晴らしい所です。伸び代も豊富にある。情熱を持つ人が集まってきているので、1回じゃなく、これからも集まっていけたらいいですね。

NTT docomo
スマートライフのパートナーへ。

XiスマートフォンとXiタブレットをセットでご契約いただくと、Xiタブレットの基本使用料がおトクに!

夢中にさせる、驚きの省電力＆サイズ感。
フルセグ対応IGZOタブレット。
AQUOS PAD SH-08E
※「AQUOS PAD」ロゴおよび「AQUOS PAD」「IGZO」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

世界最薄!*1 防水*2 対応ハイスペックタブレット。 Xperia™ Tablet Z SO-03E
※バッテリーの取り外しはできません。（バッテリーの交換は有料です。）
※音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64kデータ通信）はご利用になれません。
※「Xperia」はSony Mobile Communication ABの商標または登録商標です。
＊1 10インチクラスの液晶を保存するタブレット製品において、2013年1月22日現在 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社調べ。
＊2 防水性能IPX5/7、防塵性能IP5Xに対応。ご使用の際はキャップが確実に閉じているかご確認ください。防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回部品の交換をおすすめします（有料）。

プラスXi割　お申込み必要　キャンペーンお申込み期間の終了につきましては、ドコモのホームページにてお知らせします。

Xiスマートフォン

総合プラン
＋
Xiパケ・ホーダイ フラット
or
Xiパケ・ホーダイ ダブル
or
Xiパケ・ホーダイ ライト
or
Xiパケ・ホーダイ for ジュニア
or
Xiらくらくパケ・ホーダイ

＋

Xiタブレット*1

「Xiデータプラン フラット にねん*2」なら
お申込月から25か月まで*3
月々5,985円
▼
月々2,980円
26か月目以降もずっと
月々3,980円

FOMA スマートフォン iモードケータイ でも適用条件を満たせば、Xiタブレット が「Xiデータプランフラットにねん*2」でご利用された場合、月々3,980円

対象	適用条件	適用期間
現在ご利用中のドコモの携帯電話（代表回線）と2台目（対象回線）のXiデータ通信専用プランのご名義が同一で、かつ右記の条件を満たし、本キャンペーンをお申込みいただいたお客さま。	代表回線が上記のパケット定額サービスのいずれかにご加入、かつ対象回線がXiデータ通信専用プラン（「Xiデータプラン フラット にねん」「Xiデータプラン フラット」のいずれか）にご加入のお客さま。※ここに記載の「代表回線」とは1台目の回線（音声通話が可能なXi/FOMA料金プランの回線）のことを、「対象回線」とは、2台目の回線（割引が適用される回線）のことをいいます。	申込月から適用条件を満たさなくなる月の前月まで適用。

＊1ドコモタブレットのうち、Xi対応機種に限ります。＊2契約期間2年単位で自動更新、更新後を含む契約期間内の途中解約等の場合には9,975円の解約金がかかります。＊3初回お申込みから25か月目まで適用。※「mopera U」など本プラン対応プロバイダへのお申込みおよび月額使用料が必要です。
【『「プラスXi割」キャンペーン』に関するご注意】●対象回線としてXi対応の「ドコモタブレット」をご利用で、割引後の基本使用料が2,980円／月の場合でも、同月内にXiタブレット以外の機種を一度でもご利用の場合（お申込み当月のご利用分含む）、基本使用料は「Xiデータプラン フラット にねん：3,980円／月」、「Xiデータプラン フラット：5,450円／月」になります。なお、1つの代表回線に対し、複数の対象回線を組み合わせることはできません。＊2013年9月19日現在

詳しくは ドコモスマートフォン 検索

危険です、スマホ歩き。